



有松まちづくりの会役員会 (11月28日)

11月26日に開催された全国町並み保存連盟東海ブロック大会には「伊勢河崎まちづくり衆(三重)」「火の見櫓からまちづくりを考える会(静岡)」の方々、全国町並み保存連盟から理事の浅野氏・高橋氏・事務局長の山本氏をお迎えしました。コロナ禍にあってやっとリアルで東海ブロックゼミが開催でき大変ありがたいことでした。桜花学園大学の根尾教授の基調講演や参加者からもご意見を伺ったパネルディスカッションを通して「有松の未来」について皆で考えることができ、大変有用な会となりました。この思いを会として共有していきたいとの報告がありました。

山車会館の運営支援について、まちづくりの会としての提案をまとめることになりました。

緑区区民まつりに出店 (10月22日)

晴天の中"みどり・シティ・フェスティバル2022"が大高緑地で行われました。新たに整備された若草山芝生広場メインステージ横に「有松PRコーナー」が設置され、日本遺産有松の紹介パネル・冊子や絞・瓦の灯ろうが置かれてありました。テント屋根には染色布が・・・有松らしい雰囲気が漂っていました。子ども連れを中心に多くの人が訪れていました。



有松天満社での神前結婚式 (10月30日)

有松の氏神様 菅原道真を祀る天満社で結婚式が行われました。11時過ぎ、緊張気味の新郎と絞りの白無垢を纏った新婦が親族同席のもと、宮司の導きで厳かに式が挙行されました。新婦の白無垢は四巻き鹿の子絞りで、一反につき18万粒ある有松・鳴海絞の逸品とのことです。

山車まつりから間もないこの時期、文嶺講の皆さんが早朝から準備作業に忙しくしていました。水拭きや提灯の設置などの会場設営。他方宮司の指導で式典の準備です。巫女さん役がスマホで動き確認をしているのはいかにも現代的。

文政7年(1824)建立と伝わる社殿が輝いていました。

上/右：結婚式の様子



特集ページ 晩秋の有松を楽しむ会 (11月5日6日)

「伝統・文化SDGs」に因んだ様々な展示やイベントが2日間に渡り行われました。天候にも恵まれ多くの方が訪れました。今年のテーマはシンボルオブジェに見られるように、不要となった物(衣服や竹など)のアップサイクルです。染色体験やミチアカリで直に体感できました。

文化やアートの展示・披露しながら町家の美しさを活かし、伝統文化を未来につなげ、町並みに賑わいをもたらそうとする試みは着実にその一步を踏み出しているようです。



シンボルオブジェ「ダイバーシティ」

プログラム① 展示 Exhibition



:竹田嘉兵衛商店



絞りきもの×いけばな「晩秋の饗宴」

山車展示:唐子車



↑ 絞り実演

藍染浴衣展示:岡家住宅



布袋車正面幕展示:山車会館

旧東海道沿いの町家の軒下や室内にたくさんのいけばなが飾られ、また日が落ちるとミチアカリの灯りが町並みを包み込んでいました。そんな中での演奏や囃は来場者の心に染みたくことでしょう。有松らしい2日間でした。



有松町家ライブ:棚橋家



笙の演奏/晩秋の有松寄席:竹田嘉兵衛商店



作業風景



有松ミチアカリ:祇園寺境内 / 有松東海道沿い17:30~20:00



プログラム② 体験ツアー Workshop and Tour

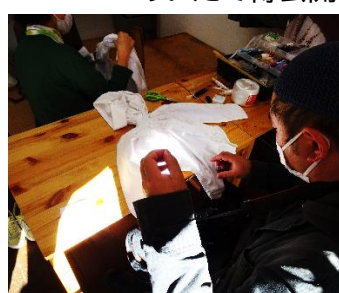
茶室は「有松の文化」に欠かせません。14代将軍が訪れたと伝わる「栽松庵」では、お抹茶を一服する人が次々とやってきていました。中濱家の茶室には"あいたて博"建物公開での見学者がたくさん訪れていました。説明されている中濱豊氏へ途切れることなく質問が出され、見学者の有松への関心の深さが伝わってきました。



竹田家茶室 栽松庵



中濱家住宅茶室
あいたて博公開→



本藍染体験：蔵工房 / 草木染め体験：早恒染色

この機会だけの藍染や草木染め体験会が各所で開かれていました。真剣に取り組む姿に頭が下がりました。



参九染太郎 絞り染めワークショップ/古着やダンボールを使ったアップサイクル体験



町並みツアー：有松あないびとの会 / きもの着崩れお直し処・A STOREHOUSE：旧山田薬局
プログラム③ マルシェ Marche : 有松天満社一帯



桶狭間古戦場保存会 秋の史跡大掃除 (11月6日)

日頃から桶狭間では史跡管理がしっかりとされていることに感心する。史跡紹介パネル設置や定期的な清掃活動が行われている。

右写真は"戦評の松"でのもの。梶野幸男さん始め4名が草取りに汗を流し、たくさんのゴミ袋が置かれていた。"桶狭間古戦場公園"など他の場所でも、早朝から会員が手分けして取り組んでいた。



清掃活動の様子 ↑

3代目 戦評の松 →



来年1月NHK大河ドラマ「どうする家康」放映予定で、緑区内は散策客で賑わいを見えている。松平元康兵糧入れの太高、信長進軍ルート沿いの鳴海・有松、そして桶狭間の戦いの舞台である桶狭間を訪ねる散策会（緑区生涯学習センター主催など）には定員を大幅に上回る応募者があったという。保存会の皆さんのように散策客をおもてなしの心で迎えたい。

桜花学園"観光総合研究所"公開講座 開催 (11月17日)

有松でのイベントには桜花学園の学生さんの協力は 欠かせません。その桜花学園観光総合研究所主催の講演会が"ウィンクあいち"で開かれました。参加者70名程。有松でまちづくりに関わっている方も・・・東海ブロックゼミを11月26日に控えたこの時期、有松の将来を考える上で参考となる講演会でした。

講演①では、「先人の心と知恵を受け継ぐまちづくり」として新潟県村上市の千年鮭きっかわ社長の吉川真嗣氏が、壊される町屋を活かして寂れた村上の活性化に取り組まれてきた20年を情熱的に語ってくださいました。"少人数で、お金をかけず、まず行動"のやり方が奇跡を起こしたようです。



吉川真嗣氏



人形様めぐりの展示と見学者

講演②では、「あいち「ツウ」リズムの推進」について県観光コンベンション局観光振興課 渡邊亨介氏よりご説明をいただきました。愛知にはその道のツウの観光資源が一杯とのことでした。

催事・行事の予定

- 12月 4日(日) 07:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 12月16日(金) 19:00 有松秋葉大社祭 (どんど焼き) 祇園寺
- 12月18日(金) 07:30 かえで道清掃
- 12月19日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- 12月26日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会
- 01月01日(日) 00:00 開門 有松天満社文嶺講
- 01月01日～03日 09:00 元旦祭 有松天満社文嶺講

発行者 竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)
編集者 加藤 明美(有松まちづくりの会 広報部長)
pegasusb@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開しています。

